

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

2024 年(令和 6 年)度の事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人ゆう

1 事業の成果

・2013 年 12 月から「就労継続支援 B 型事業所」へ移行し、11 年 4 か月経過しました。
・「就労継続支援 B 型事業所作業所ゆう」には、4 月には 8 名でスタートし、4 月 12 日に新規利用者 1 名が増え 9 名の利用になった。それぞれが相談支援専門員と「サービス等利用計画」をたて、作業所内でも「個別支援計画」をたて、それに沿った支援をしていきました。

・作業内容としては、「自然食品と手づくり品の店ゆう」の日々の業務として、商品の値付け・棚並べ・販売をしました。店として、お客様に気持ちよくご来店いただけるよう掃除や花植えをしたり、賞味期限チェックなども毎日地道にやっていました。

・外での販売も公的施設や障がい者施設など月に 4～5 件あり、食品や手づくり品をまとめて、車で販売先まで出かけて販売しました。5 月にはアンサンブル OITA で出店販売をし、たくさんのお客様に来ていただき、手づくり品が売れました。9 月にはお客様の紹介でルーチェ 3 周年マルシェに出店。自然食品がたくさん売れました。

・また、手づくり品製作では、主にアート布巾や刺し子布巾を縫ったり、ゆうのマスコットの福朗さんの小物や、ブローチ類などの手づくり品製作をしています。他にも、いろいろな手づくり品の開発をしながら過ごしています。

・カタログでの販売もしています。委託販売もしています。2 か所で、それぞれのニーズにあった商品(自然食品のお菓子や手づくり品)を委託しています。

・BIG はっぴースタディでは、県外への外出もしました。福岡市博物館で『藤城清治 100 歳記念個展』を観たり、阿蘇へ縫製班慰安ランチに行ったり、意欲的に活動しました。

・はっぴースタディでは、絵画鑑賞や映画鑑賞などの日々の充実を図るための活動もしました。また、利用者の誕生月にはゆうのお菓子でお祝いをする誕生会も開催。

はっぴースタディとは、計画するところから参加して、場所や準備物について調べたり、考えたり、しおりや報告書をつくったりと訓練的な要素をもつものとしての名称です。

・「ゆうまつり☆2024」は、一泊二日の BIG! はっぴースタディを代わりとし、11 月 30～12 月 1 日に鹿児島方面へ。参加費用を宿泊代のみにするため利用者 4 名職員 3 名合計 7 人が車 1 台で乗り合わせていきました。出水市の鶴観察センターで鶴を観たり、初めて宿泊参加できた利用者もあり、夕食ではお酒を飲みながら語らったり、とても有意義に過ごせました。翌日は川内市の甲冑工房丸武へ行き、武者体験を楽しみました。

・日中一時支援「アフターゆう」は、利用者一名で、旅行のガイド雑誌を見たり、職員との談話を楽しんだりして過ごしました。

これらの日々の支援を充実させるために、理事会やスタッフミーティングでの内部研修や、以下の研修会に参加して知識を増やし、スキルをあげるよう努力しています。習得した知識をスタッフミーティング等で伝達講習をしました。「令和 6 年度大分県障が

い者虐待防止・権利擁護研修」「九州自然食品協同組合・合同支部会研修会」「徳田弁護士 56 周年記念講演会」「優生保護法総会を支援する大分の会シンポジウム」「障がい福祉サービス事業所説明会」「歩みの会 50 周年記念講演：人間の尊厳が侵されることのない社会を」などです。

・2022 年度に発足した「感染症発生時対策委員会」、「虐待防止委員会」、「身体拘束の適正化対策委員会」もスタッフミーティング時に開催。2025 年 3 月に「自然災害発生時対策委員会」を発足し、委員会で「自然災害発生時の業務継続計画」を作成した。研修も「感染症対策研修」「障がい者虐待防止・権利擁護研修」「身体拘束などの適正化対策研修」「てんかん発作時・発作後の対応研修」等実施した。

・通信発行と随時、ブログ「ゆうのわいわいドタバタ日記」で広報活動もしました。通信は 2024 年度も発行頻度が低かったため、3 ヶ月に 1 度の発行が出来るよう頑張りたいです。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数
(1) 障害者総合支援法に基づく、障害のある人たちの居場所作りや社会参加をするための福祉サービス事業	・就労継続支援 B 型事業 ・日中一時支援事業	(A)2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日 (B)ゆう (C)20 名 (A)2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日 (B)ゆう (C)1 名	(D)大分市内の利用者 (E)9 名 (D)大分市内の利用者 (E)1 名
(2) 地域社会との交流事業	・作業所ゆうにおける「自然食品と手づくり品の店ゆう」運営	(A)2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日 (B)ゆう (C)5 名	(D)一般のお客様 (E)のべ 1300 人

法人名：特定非営利活動法人 ゆう

活 動 計 算 書

2024年4月1日より2025年3月31日まで
(単位：円)

科 目	金 額		合 計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	21,000		
応援会員受取会費	13,000	34,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	1,000	1,000	
3. 事業収益			
受託事業収益	19,376,641		
自主事業収益	7,967,120		
事業収益計		27,343,761	
4. その他収益			
その他収益計		0	
経常収益計			27,378,761
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
職員給料	9,620,194		
非常勤職員給料	3,022,677		
工賃	1,497,932		
法定福利費	1,200,599		
福利厚生費	680,597		
人件費計	16,021,999		
(2)その他経費			
仕入・材料	6,017,089		
地代家賃	1,056,000		
賃借料	46,200		
旅費交通費	451,567		
通信運搬費	141,222		
消耗品費	55,248		
広告宣伝費	12,636		
訓練指導費	82,687		
教養娯楽費	42,622		
会議費	324		
諸会費	30,000		
水道光熱費	506,237		
修繕費	29,700		
車両費	84,933		
保険料	110,320		
交際費	21,720		
業務委託費	318,360		
雑費	71,215		
その他経費計	9,078,080		
事業費計		25,100,079	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
会議費	1,467		
諸会費	4,800		
減価償却費	134,468		
その他経費計	140,735		
管理費計		140,735	
経常費用計			25,240,814
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			5,336,905
当期正味財産増減額			2,137,947
次期繰越正味財産額			7,474,852

法人名：特定非営利活動法人 ゆう

貸 借 対 照 表

2025年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	266,272		
普通預金	4,852,555		
定期積金	1,700,000		
流動資産合計		6,818,827	
2 固定資産			
設備	85,520		
什器備品	368,504		
車両	1		
出資金	30,000		
敷金	172,000		
固定資産合計		656,025	
資産合計			7,474,852
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,336,905	
当期正味財産増減額		2,137,947	
正味財産合計			7,474,852
負債および正味財産合計			7,474,852

法人名：特定非営利活動法人 ゆう

財 産 目 録

2025年3月31日現在
(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	266,272		
普通預金			
普通（信金）	4,852,555		
定期積金（信金）	1,700,000		
流動資産合計		6,818,827	
2 固定資産			
電動シャッター	38,192		
洋式トイレ	47,328		
コピー機	1		
パソコン	1		
ラジエントヒーター	1		
冷凍冷蔵ショーケース	368,500		
レジスター	1		
ホンダステップワゴン	1		
出資金	30,000		
敷金	172,000		
固定資産合計		656,025	
資産合計			7,474,852
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			7,474,852